

2025年2月28日

支援プログラムの公表状況に関する届出書

届出区分	新規	変更（変更内容：）	
法人名	株式会社 サクラバイオ		
事業所名	運動学習特化型 児童発達支援・放課後等デイサービス グッドジョブスポーツ		
（事業所番号）	4650100201		
サービスの種別	①児童発達支援 ②放課後等デイサービス ③①・②の多機能 ④居宅訪問型児童発達支援		
事業所所在地 （区市町村名）	鹿児島市泉町13-24-2F		
指定年月日 （児童発達支援）	令和2年3月15日	指定年月日 （放課後等デイサービス）	令和2年3月15日
指定年月日 （居宅訪問型児童発達支援）	年 月 日		

【支援プログラムの公表状況】

公表の実施時期	2025年 2月
公表方法	① インターネット ② その他（） ①の場合は公表内容欄にURLを記載、②の場合は公表内容欄に詳細を記載
公表内容	https://goodjob.group/

法人 (事業所) 理念	GOODJOB! で いい未来をつくる!		
支援方針	【自分らしく「幸せ」に生きていくことを選ぶスキルを身につけてもらうサポート】		
営業時間	8 時 00 分から	17 時 00 分まで	送迎実施の有無 あり なし
支 援 内 容			
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の維持・改善 (検温や手洗い・うがいの実施、運動を毎日実施していくことで健康的な体作りを行っています) ○生活習慣や生活リズムの形成 (日々のカリキュラムやタイムテーブルを活用していくことでリズムを獲得していきます) ○基本的な生活のスキルの獲得 (個々の能力に合わせたトレーニングの実施、集団活動の中でのトレーニングにより、生活に必要なスキルを獲得していきます) 		
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢と運動・動作の基本的機能の向上 (運動や課外活動等を通して基本的機能の向上を獲得していきます) ○姿勢保持と運動・動作の補助手段の活用 (運動や机上活動を通して、体幹や基礎体力の向上を目指します) ○身体の移動能力の向上 (運動や遊びを通して、自らの体を自由に動かす (コントロールする) 能力を育みます) ○保有する感覚の活用 (感覚統合を目的とした療育器具 (トランポリンやスイング等) を用いて感覚を整えていきます) 		
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○認知の特性についての理解と対応 (事業所内の構造化やカリキュラムにて、空間や時間等の認知形成に繋がっていきます) ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得 (SSTや課外活動等にて、認知と適切な行動の習得に繋がります) ○行動障害への予防及び対応等 (不適切な行動に対して瞬時に児童への声かけや振り返りを徹底させることで自分自身の行動に対して考える力を身に付けます) 		
本人支援	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの基礎的能力の向上 (SSTや課外活動を通して、場に応じた声掛けができるようサポートを行っています) ○言語の受容と表出 (上記同様) ○コミュニケーションの手段の選択と活用 (上記同様) ○状況に応じたコミュニケーション (上記同様) 		
人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○情緒の安定 (SSTやトレーニングにより、脳機能の向上を図り、脳機能の向上に繋がります) ○他者との関わり(人間関係)の形成 (日々の活動や課外活動、社会活動を通して、他者と関わる機会を増やしていきます) ○遊びを通じた社会性の発達 (日々の活動や課外活動、社会活動を通して他者と関わる機会を増やし、社会性を育てていきます) ○仲間づくりと集団への参加 		
家族支援	定期的な保護者面談・保護者会・保護者のためのグジジョブトーク 室 (公認心理師・臨床心理士) による子育てご相談	移行支援	学校連携・医療連携を定期的に行っており、移行支援の際に各機関のご担当者との平常時からの関係づくりやご本人・御家族の御意向に合わせて情報共有を行っています。
地域支援・地域連携	グループ会社と共に、余暇活動支援のネストジャパンがごしま、MIRAI食堂 (NPO法人グジジョブサポート) 等を通して地域の方々と一緒に活動を行っています。	職員の質の向上	必須研修 (虐待防止・身体拘束・非常時対応等) はもちろんの事、療育の質を向上させる為に全職員参加の外部講師による専門研修、心理勉強会、事業所内で専門職によるケース検討会、医療との勉強会を毎月行っております。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのイベントカリキュラム ・保護者参観 ・各種講演会 (通信制高校合同相談会、子育て支援講座、こどもの未来の選択肢のための特例子会社についての講演会、精神科医による発達支援についての講演会等) を年間 5 ~ 8 回開催。 		

支援プログラム（参考様式）

（別添資料 1）

運動学習特化型放課後等デイサービスグッジョブスポーツ（放課後等デイサービス）

作成日 令和 7 年 2 月 15 日

法人（事業所）理念	GOODJOB! で いい未来をつくる!		
支援方針	【自分らしく「幸せ」に生きていくことを選ぶスキルを身につけてもらうサポート】		
営業時間	10 時 00 分	19 時 00 分	まで
	送迎実施の有無	あり	なし
支 援 内 容			
健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ○健康状態の維持・改善（検温や手洗い・うがいの実施、運動を毎日実施していくことで健康的な体作りを行っていきます） ○生活習慣や生活リズムの形成（日々のカリキュラムやタイムテーブルを活用していくことでリズムを獲得していきます） ○基本的な生活のスキルの獲得（個々の能力に合わせたトレーニングの実施、集団活動の中のトレーニングにより、生活に必要なスキルを獲得していきます） 		
運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ○姿勢と運動・動作の基本的機能の向上（運動や課外活動等を通して基本的機能の向上を獲得していきます） ○姿勢保持と運動・動作の補助的手段の活用（運動や机上活動を通して、体幹や基礎体力の向上を目指します） ○身体の移動能力の向上（運動や遊びを通して、自らの体を自由に動かす（コントロールする）能力を育みます） ○保有する感覚の活用（感覚統合を目的とした療育器具（トランポリンやスイング等）を用いて感覚を整えていきます） 		
認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ○認知の特性についての理解と対応（事業所内の構造化やカリキュラムにて、空間や時間等の認知形成に繋がっていきます） ○対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得（SSTや課外活動等にて、認知と適切な行動の習得に繋がります） ○行動障害への予防及び対応等（不適切な行動に対して瞬時に児童への声かけや振り返りを徹底させることで自分自身の行動に対して考えを身に付けます） 		
言語コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ○コミュニケーションの基礎的能力の向上（ボードゲームなどを通してルールを学びながらお友だちと関わり合う機会をつくれます） ○言語の受容と表出（お友だちとコミュニケーションを取る中で思ったことや感じたことを言葉にするための機会を授けます） ○コミュニケーションの手段の選択と活用（日々の活動の中でこういった時ほどどうすればいいかなど、自分で考えて行動できるように学ぶ機会を提供します） ○状況に応じたコミュニケーション（その時々の判断を自分でできるような機会をこちらから提供していきます） 		
人間関係社会性	<ul style="list-style-type: none"> ○情緒の安定（気持ちの切り替え方の支援をします） ○他者との関わり（人間関係）の形成（同年代のお友だちや目上の人との関わり方を学ぶ機会を提供します） ○遊びを通して社会性の発達（遊びの中で他者との関わり方を学ぶ機会を提供します） ○自己の理解と行動の調整（様々な場面に応じた対応方法など集団活動を通して学ぶ機会を提供します） ○仲間づくりと集団への参加（集団活動の中で必要なルールやマナーを運動や遊びを通して身に付けます） 		
家族支援	定期的な保護者面談・保護者会・保護者のためのグッジョブトーク室（公認心理師・臨床心理士）による子育てご相談	移行支援	学校連携・医療連携を定期的に行っており、移行支援の際に各機関のご担当者との平常時からの関係づくりやご本人・御家族の御意向に合わせて情報共有を行っております。
地域支援・地域連携	グループ会社と共に、余暇活動支援のネットワークがございまして、MIRAI食堂（NPO法人グッジョブサポート）等を通して地域の方々と一緒に活動を行っております。	職員の質の向上	必須研修（虐待防止・身体拘束・非常時対応等）はもちろんの事、療育の質を向上させる為に全職員参加の外部講師による専門研修、心理勉強会、事業所内で専門職によるケース検討会、医療との勉強会を毎月行っております。
主な行事等	<ul style="list-style-type: none"> ・季節ごとのイベントカリキュラム ・保護者参観 ・各種講演会（通信制高校合同相談会、子育て支援講座、こどもの未来の選択肢のための特例子会社についての講演会、精神科医による発達支援についての講演会等）を年間5～8回開催。 		